

文化財を活用した、「まちづくり」について考える。

(図)掛川市の歴史文化遺産・博物館一例



文化財を守る

参加者募集のお知らせ
第13回シンポジウム (参加無料)

地域創生と
歴史文化遺産・博物館

日時／平成27年10月17日(土)
13時20分～16時30分

会場／大日本報徳社 大講堂
静岡県掛川市掛川一七六番地

主催／一般財団法人伊豆屋伝八文化振興財団
静岡県教育委員会 静岡県文化財保存協会
後援／掛川市教育委員会、静岡県博物館協会
協力／公益社団法人大日本報徳社

第13回シンポジウム 文化財を守る

『地域創生と歴史文化遺産・博物館』

開催趣旨

歴史文化遺産や博物館を地域再生、まちづくりなどのために活用しようとする動きが盛んになっています。それは文化財の公開につながり、人々が文化財を身近な存在に感じるきっかけともなっています。このシンポジウムでは、歴史文化遺産や博物館を活用してまちづくりや観光に役立っている事例を紹介し、静岡県内各地域が活性化する方法を探ります。

内容

- 受付 12時30分
- 開会 掛川市副市長あいさつ 13時20分
- 趣旨説明 静岡県教育委員会文化財保護課長
- 伊伝財団理事長表彰 13時30分
- 活動報告 13時45分
- (1)「松本まるごと博物館の経緯と現状」
窪田雅之(松本市立博物館館長)
- (2)「大日本報徳社の文化財と報徳思想」
榎村純(公益社団法人大日本報徳社社長)
- シンポジウム 15時30分
- テーマ「地域創生とまるごと博物館文化財」
パネリスト

窪田雅之・榎村純
杉山幸一(遠州横須賀倶楽部若年寄)
日比野秀男(常葉大学名誉教授)



■会場までのアクセス:JR掛川駅より徒歩で10～15分



大講堂 大広間

講師紹介

松本まるごと博物館の経緯と現状
松本市立博物館館長
窪田雅之
二〇〇〇年、松本市では市域を屋根のない博物館とする「松本まるごと博物館」構想を策定し、現在、構想に基づき市民学芸員などと協働しながら博物館を一つの核として(へんづくり)「まちづくり」を進めています。今回は、その活動の一端を紹介させていただきます。

大日本報徳社の文化財と報徳思想
公益社団法人大日本報徳社社長
榎村純一
このシンポジウム会場の大日本報徳社大講堂は国の重要文化財、二宮尊徳思想の「報徳」を守ってきた所です。また、その背景となる掛川城址公園には、同じく重文の御殿、木造天守閣、茶室、美術館、図書館等の木の文化財が建ち並んでいます。それらの故事来歴を述べます。

地域創生とまるごと博物館文化財
常葉大学名誉教授・掛川市スタンドグラス美術館館長
日比野秀男
文化財は保護という視点から活用という視点に代わってきました。博物館についても資料の収集保管という機能に地域の活性化という役割が加わりました。さらに地方の人口減少の予測は深刻で地域創生が喫緊の課題となっています。博物館や文化財が未来を作る役割を担うことが期待されます。